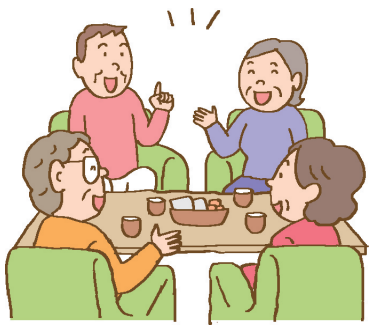



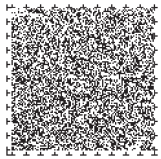


1

認知症の段階別に見られる主な症状と

認知症は少しずつ進行し、症状や必要な対応が変わっていきます。認知症の進み方を知って、

認知症の段階	健康	MCI(軽度認知障害) <small>認知症のように生活に支障はないが、もの忘れが多くなる認知症の前段階。</small>	認知症(軽度)
	自立		誰かの見守りがあれば日常生活は自立
本人の様子(目安)	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくりや介護予防に取り組む ● 地域とのつながり(社会参加)を大事にする 	<ul style="list-style-type: none"> ● ものわすれが増えるが自覚もある(人からも言われ始める) ● 日常生活は自立しているが、計算間違いや漢字のミスなどが増える 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同じことを何度も聞くようになる ● 物や人の名前が出てこない ● 置き忘れやしまい忘れが増える ● 料理や買い物、金銭管理などが難しくなってくる 
	家族の心得・対応のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人と一緒に認知症予防に関する取り組みを実践しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年のせいにならず、気になり始めたら、早めにかかりつけ医や各種窓口にご相談しましょう(認知症早期発見の目安▶8ページ) 



家族の対応

進行に合わせた対応を心得ておきましょう。



認知症(中等度)

日常生活を送るには
支援や介護が必要

- 「ものを盗られた」などの発言が出る
- 洋服の着替えがうまくできなくなる
- 家までの帰り道が分からなくなる
- 書字・読字が苦手になる
- ものわすれの自覚がない



認知症(重度)

常に専門医療や
介護が必要

- 食事、トイレ、お風呂、移動などの日常生活に関することが、誰かの助けがないと難しい
- 車いすやベッド上での生活が長くなる
- 言葉数は少なくなるが、感覚(目・耳・鼻などの機能)は残っている



- 様々な症状が現れてきて疲れる時期。人の助けを借りましょう
- 通所サービスのみでは困難、訪問系や地域密着型サービスなどの検討をしましょう



- 本人が安心できる環境づくりを心がけましょう
- 最期の迎え方について話し合いをしておきましょう



地域の皆さんの見守り・支え合いをお願いします

認知症の人やその家族が地域から孤立してしまわないよう、地域の皆さんの積極的な声かけと気配りにご協力をお願いします。

じいちゃんがおらんごつなりました!!



安心してください、私たちが一緒に探します。



おばあちゃんの介護で疲れちゃって…。



息抜きした方がいいわよ。



あなた(本人・家族)が安心して暮らすために

閉じこもりがちな生活で人との関わりが少なかったり、周囲の人の対応によっては、認知症がさらに進んでしまうこともあります。各種サービスの利用や相談に加え、日頃から地域活動に参加し、絆をつくり、支え合いの芽を育てましょう。



おはようございます、今日も1日よろしくをお願いします。

